



えんだより

令和6年2月
旗川幼稚園

梅の花が咲きだし、春が近付いていることを感じさせます。ふれあいの日にはお忙しい中をお越しいただきありがとうございました。友だちや先生と関わっているお子さんの様子や、活動に向かう姿をご覧いただきましたが、いかがでしたでしょうか。ホームページでもお伝えしましたが、皆いい笑顔でしたね。

ひよこぐみ 体操教室と親子体操を行いました。おうちの人が一緒に嬉しかった子もいれば、いつもと違う環境に泣いてしまった子もいましたね。でも最後は皆笑顔で楽しむことができました。先生の言葉を聞いて行動している姿や、歌うことを楽しむ姿、一人で身支度や食事をする姿など、ご家庭と園での姿の違いを感じられた方もいらっしゃったのではないでしょうか。あっという間に大きくなっていますので、今年の姿を忘れないでいてほしいと思います。

はとぐみ マラソンができなくて残念でしたが、親子体操と製作を行いました。お子さんと一緒に体を動かして遊ぶ時間を大事にしてほしいと願って企画しました。お子さんの成長には運動も大切です。幼児期に必要な多様な動きの獲得や体力・運動能力の基礎づくりのためには、1日60分以上体を動かすことが求められています。ぜひご家庭でも楽しんでくださいね。また、はさみの使い方をご覧いただきました。指先を使うことで脳にも刺激がいきますので、危険と思わず製作遊びも楽しんでくださいね。



ももぐみ 寒い中のマラソン、ありがとうございました。逆走することでお子さんの走っている姿がよくご覧いただけたと思います。まっすぐ走っていましたか？また、版画では、ご自身の小学校時代を思い出されたのではないかでしょうか。文字が反対に映ることや、力を入れて掘る(書く)ことが必要なこと、また、インクをローラーでつけることなど、様々な初めてが体験できたと思います。小学生になって版画の授業の時に「あの時やったよね」と思い出してもらえたなら嬉しいですね。

つきぐみ 様々な親子競争やかるた、ひらがなの勉強など、盛りだくさんの内容でした。先生の話を聞き、それを理解して行動することや、友だちと協力して楽しむこと、文字に親しみ語りを増やしたり正しく書いたりすることなど、小学校を意識して生活している姿を見ていただきました。好きな事に没頭している時は、楽しくて集中力も高まりますが、小学校の授業では好きな事ばかりではありません。少し難しい事や苦手な事も出てきます。それに対応できる力も必要になってきます。残り1か月となった園生活ですが、小学校で困らないように指導していこうと思います。

今年度最後の保育参観でしたが、それぞれの年齢に合った保育内容だったと思います。1年のまとめとして成長した姿をお見せしましたが、就学、進級にあたり不安な点がございましたら遠慮なく担任にお話ください。子どもたち一人一人が自信を持って前に進んでいけるよう保育していきたいと思います。

緊急時一斉メールについて

先週は、突然の臨時休園や雪での自由登園にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。緊急時一斉メールとE-Traノートの2種類で対応させていただきました。

以前もお伝えしましたが、E-Traノートは学校対応となっていますので、幼稚園独自の行事名(例えば、保育参観、お遊戯会、休園等)が登録されていません。ご不便をお掛けしますが、外国語対応と開封確認ができるところが園にとって利点となっていますので、今後も2種類を併用していきたいと思います。よろしくお願ひします。

体操教室

ひよこぐみの保護者の方にご覧いただいた体操教室ですが、幼稚園にはいない男性の先生との関わりは、毎年慣れるまでに時間がかかるお子さんが多く見られます。また、園の先生との口調の違いにも驚き、怖い印象を持つお子さんもいます。しかし、諦めずにいろいろな事に挑戦し、最後までやり遂げられる子になってほしいと願う気持ちは、私たち園の職員も同じです。また、様々な人との関わりという点でも良いことだと思っています。ひよこぐみは、1回10分～15分という短い時間ですが、この短い時間の挑戦が今後に活かされてきますので温かく見守っていてほしいと思います。



まめまき

今年も来ました！赤鬼と青鬼。ひよこぐみやはとぐみが泣きながらも立ち向かっていく姿は微笑ましいものです。お面にも年齢の違いが見られました。つきぐみの「鬼のお面」をテーマに自分のイメージで材料を選び、形にしていく過程は園での製作活動の集大成と言えるでしょう。ここに至るまでにはその前の学年での経験が必要です。自由に作る楽しさや、難しさ、試行錯誤しながら形にしていくおもしろさを十分味わってきたからこそこの作品でした。もう一度ホームページを見て、つきぐみさんの凄さを感じてくださいね。



マラソン・体力づくり

毎朝行っているマラソンですが、私も逆走して子どもたちをみています。見ていて感じることは、まっすぐ走れない子が多いことです。視線が下を向いているため、前から来る私に気づかない子もいます。また、後ろや横を気にしたり、フラフラして後ろから来る子の進路妨害をしたりしてしまう子もいます。「まっすぐ前を見て」と声を掛けることで意識するようになってきているようですので、声掛けは続けていきたいと思います。

マラソンの後は、なわとびや固定遊具を使って体力づくりをしています。うんていや鉄棒などできることも増えてきました。特になわとびを頑張っているつきぐみさんは、体操の諏訪先生から他園の連続前跳びの記録、1825回という数に感化され、毎日記録更新に励んでいます。色々なことに挑戦中の子どもたちです。